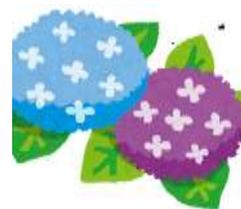


2021 ねん

6・7 がつごう



しもうまとしょかん こどもしつはっこう

6がつのカレンダー

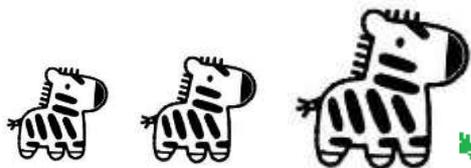
7がつのカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ としょかんのおやすみの日  
 ▲ 午前9時～午後5時までの開館

感染症予防のためおはなし会は未定です  
 ホームページなどでご確認ください。



~~~~6月10日「時の記念日」～時計のこと~~~~



「時の記念日」は、みんなが時間をまもり、時間を大切にすることを広めるために、1920（大正9）年にはじまりました。

「時の記念日」が6月10日にきまったのは、今から1350年前の西暦671年の天智天皇のときに「漏刻」という水時計で時間をはかり、日本で初めて鐘や太鼓をならして時刻を知らせた日だからです。

\*もっとくわしく知りたい、時計について知りたいお友だちは下に紹介した本などを読んでね。

☆「時計の大研究 日時計からハイテク時計まで 時計のすべてがわかる！」J 緑 53

織田 一朗 監修 PHP 研究社

☆「時計がわかる本」J 緑 44 矢玉 四郎 岩崎書店

☆「ふしぎ?ふしぎ! 時間ものしり大百科 1」山口大学時間額研究所 監修 藤沢 健太 著 ミネルヴァ 書房





し ぜ ん

# 自然について、かんがえてみようパート2



2020年6・7月号の「はらぺこしんぶん」でもテーマにした内容ですが、他にも紹介した  
 たくさんのお本がでています。今回は特にみなさんが生きていくのに必要な酸素を作っ  
 てる木について書かれているものを中心にご紹介させていただきます。

木についてかいてある本

かりてよんでみてね!

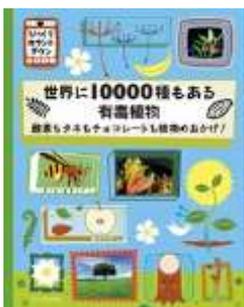


『八十万本の木を植えた話』イ・ミエ著 高賢脩 訳 吉川賢 監修 中村鈴子  
 さし絵 (合同出版) J65茶

ユーラシア大陸(中国やインド、ロシアがある大きな大陸のこと)のモンゴルにはモウソという場所があります。昔は草原が広がっていましたが、家や家具などを作るために木を片っ端から切ってしまったために雨が全く降らなくなり、砂漠になってしまいました。このモウソの真ん中にあるチンバイタンにお嫁に来たウィチョンという女の子の人が木を植えようとしています。たくさん失敗をくり返しますが、ウィチョンは木をどのように植えていったのでしょうか?これは本当にあったお話です。

『マングローブの木 - アフリカの海辺を緑の林に -』スザン・L. 吠文とラズィ  
 ヌディ・トラボア文 松沢あさか訳 (さ・え・ら書房) J65茶

アフリカにあるエリトリア国のハルギコという村の人や動物たちはいつもおなかを空かせていました。なぜならこの土地はかわききって雨もめったにふらないからです。アメリカの科学者、ゴードン・サトウ博士はラクタがマングローブの葉を食べているのを見て海辺にマングローブを植えることを思いつきます。さあ、この土地はどのように生まれ変わるのでしょうか。



『世界に10000種もある有毒植物 - 酸素もタネも丸も植物のおかげ! -』  
 ポール・ワット文 藤田千枝 訳 (玉川大学出版部) J47 緑

この本は数字でいろいろなことを教えてくれます。例えば植物は太陽の光をあびて光合成をして酸素を作りますが、地球の酸素の70%は海から作られていると知っていましたか?酸素は海の中でどのように作られているのでしょうか。  
 また、雑誌の紙をつくるための木は何本必要か?などの答えがわかります。

『地球はえらい (みちかなかがく)』城雄二 案 香原和志 文 松岡達英 絵  
 (福音館書店) J45 緑

今から50億年前、地球が生まれました。雨が何万年も降り続き海になりましたが、そのころの海はさまざまなものが入っていて猛獣の海だったのです。しかしそこに生き物(ソウ類など)があらわれ、いろいろな種類の植物、動物にわかれていきました。しかし私たち人間はくらしを豊かにするためにつぎつぎとあたらしいものを作り出し、そして捨ててきました。それは地球にとって、わたしたち人間にとって本当によいことだったのか、ぜひ考えてみてください。

